酪農経営の早期安定に向けた子育て支援
～計根別地区の子育て支援～

根室農業改良普及センター北根室支所

Ⅰ　地域の概要

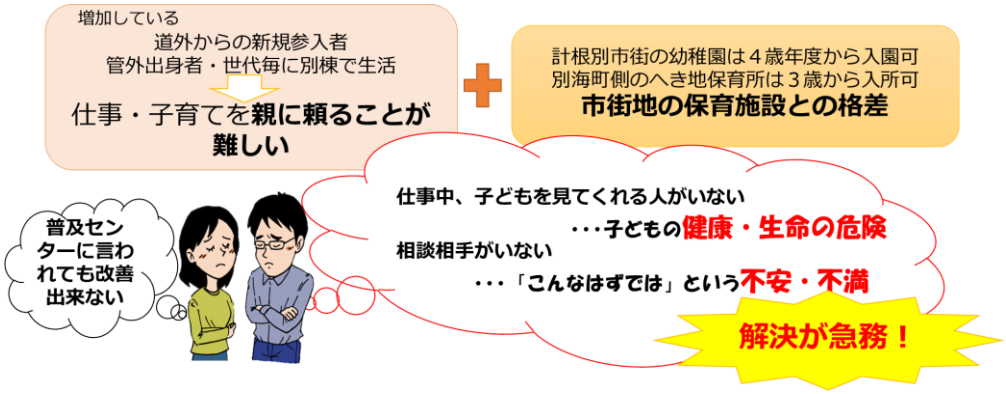
・酪農専業地帯
・TMRセンターやコントラクタ、育成牛預託牧場など営農支援体制を整備
・農家戸数・生産量の維持と離農跡地の活用のため、新規参入者の受入を促進（H13年～R1年 22戸）
・新規参入者の年齢層は30代が主であり、乳幼児の育児中である家庭が多い

～普及センター地域課題より～
新規参入者における経営の安定化に向けて「営農と子育ての両立」が必要

別農業協同組合は中標津町と隣接する別海町にまたがって組織されている

Ⅱ　目標・課題

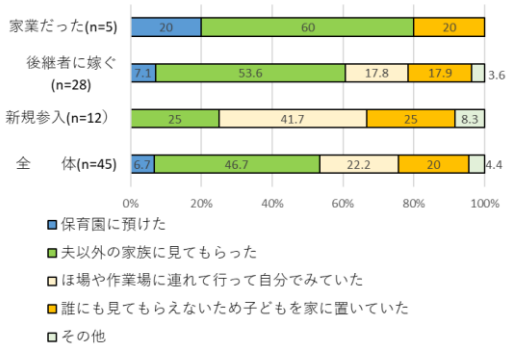
計根別市街周辺（別海町を含む）から中標津町側の農家に対して幼稚園入園前の子どもに対する支援を行うこと



Ⅲ　活動内容

	活動経過	メンバー
①課題の共有	JA計根別と普及センターで地域の課題と対策を検討	JA計根別、普及センター
	JA計根別が北根室農業改良協議会（以下、北根室協議会）で新規参入者の受入における子育て支援の必要性を提案	北根室協議会（構成：３町、３ＪＡ、公社、普及センター）
②情報収集	「足寄町こども園」を視察	北根室協議会
	「標津町認定こども園」、「中標津町NPO法人」を視察	JA計根別、振興局、普及センター
③実態調査	子育て経験のある49歳以下の女性農業者45名を対象に、出産前後や育児の状況について対面式で聞き取り調査を実施	JA計根別、派遣職員、普及センター
④親子サロン	保護者同士の交流や子育ての悩み相談の場を創出	JA計根別、NPO法人、振興局、普及センター
⑤お試し出張託児	農業者が子どもを他人へ預けることに対する不安の有無を確認し、慣れてもらうこと、ニーズの確認が目的	JA計根別、NPO法人、振興局、普及センター
⑥関係機関を集めた会議	実態調査、親子サロン、お試し出張託児から見えてきた課題の共有と、施設開設に向けた具体案の検討を実施	役場、JA、NPO法人、振興局、普及センター
⑦事業開始	一時預かりと児童館が一体となった施設「えみふる」開設	
⑧女性向け学習会	メンバーを固定せず、テーマごとに興味がある人が学べる学習会「つくし学級」を開始。託児の日に合わせて開催。	JA計根別、獣医師、酪検協会、指導農業士、普及センター

実態調査の結果



作業中誰が子どもを見ていたか

～実際にあった危険な事例～

- 洗剤の誤飲
- 消石灰によるやけどや、家畜との接触事故
- ほ場作業中、子どもを置いた車のエアコンが切れていた
- ベッドの柵、二重窓に子どもが挟まっていた
- 雪の中、乳児が這って外へ出ていた

母親は子育て、父親は仕事？

夫一人に作業を任せると
仕事が終わらない、夫の健康が心配

子どもを家に置いてくる

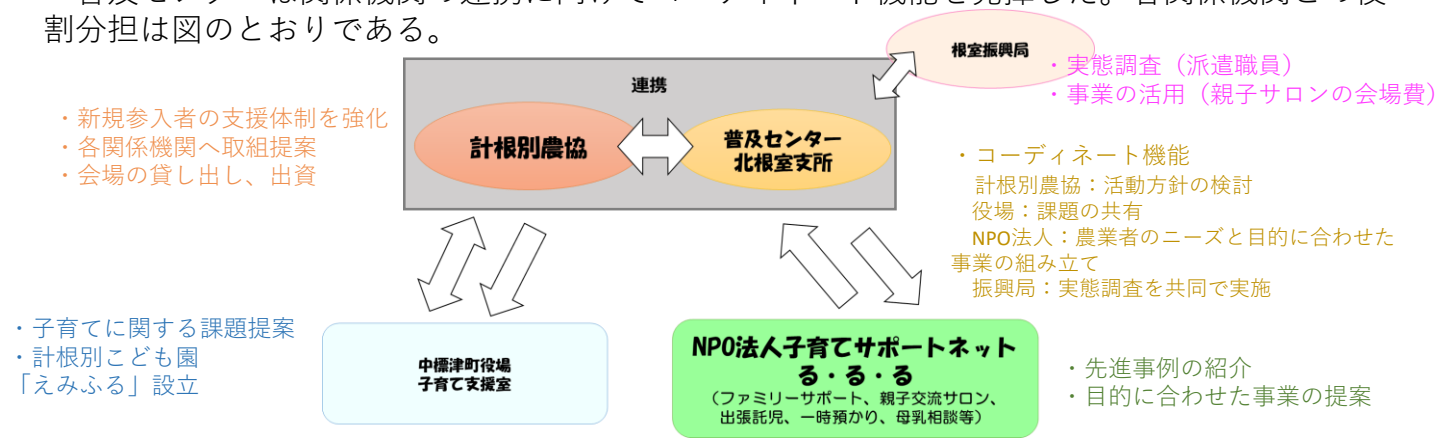
置いてきた子どもを何度も見に行くので
精神的負担大

作業に集中できず、生産性が上がらない

悪循環！

関係機関の連携

普及センターは関係機関の連携に向けてコーディネート機能を発揮した。各関係機関との役割分担は図のとおりである。



Ⅳ　活動の成果

計根別こども館「えみふる」開設

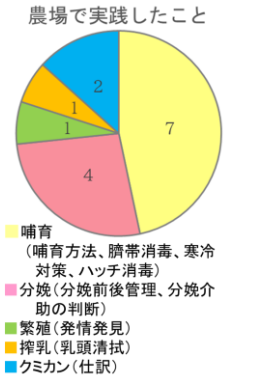
- 定員10名（農業者枠６名）
- 農業者枠は利用時間の上限なし
- 預かり料金は中標津町の規程どおり
- JAによる建物の無償賃貸
- JAで保育士１名分の人件費を負担
- JAのAコープで幼児用弁当を障害者支援施設と連携して製造・配送

計根別こども園「えみふる」

女性農業者のスキルアップ

女性農業者の声をもとに、飼養管理技術の向上に向けた学習会「つくし学級」を開始した。託児の日に合わせて開催することで、これまで参加できなかった育児中の女性が学習の機会を得られるようになった。

～アンケートを実施～



Ⅴ　今後の普及活動

積極的に学習会を牽引するリーダーの存在に加え、新規参入者の中にも飼養管理技術の経験を周囲に伝え、次期リーダーとなり得る人材も育っている。

今後は経営の安定化に向けて飼養管理技術や経営判断能力の向上、リーダー創出を支援する。